

[放射能に関するデータバンク] <2014-04-06 更新>

これは日ごろから、放射能関連サイト、動画サイトなどを書きとめていたものを、大分類に従い、整理・整頓することで、関係各位に必要な応じ有効活用して頂ければと考え、作成したものです。

下記の項目のクリックで、該当の箇所にとびます。ここで見たいURLをクリックすることで欲しい資料が参照可能となります。

① 原子力全般	② 放射能全般	③ 外部被ばく・ 内部被ばく	④ 放射能と食品	⑤ 放射能検査、 線量換算計算、モ ニタリングなど
⑥ 放射能と行 政、エネルギー政 策、放射能教育等	⑦ 放射能と医 療、研修など	⑧ 他国の事例	⑨ 放射性廃棄物	⑩ その他

《① 原子力全般》

原子力行政全般を司る[経済産業省のサイト](#)。特に東日本大震災関連情報に注目。なお、保安院は閉鎖され、環境省原子力規制委員会に移行しました。

<http://www.meti.go.jp/>

[原子力規制委員会](#)。環境省に新たに外局として原子力規制に関わる部署を設け、原子力安全・保安院と内閣府の原子力安全委員会、文部科学省科学技術・学術政策局原子力安全課の一部の役割など、原子炉施設等の規制・監視に関わる部署をまとめて移管することが検討されたが、最終的に環境省の外局として「原子力安全庁」を新設する案が採用された。

<http://www.nsr.go.jp/>

[原子力規制委員会の開催状況](#)。

<http://www.nsr.go.jp/committee/kisei/>

内閣府原子力委員会。政府は原子力委員会が策定する「[原子力政策大綱](#)」を原子力政策の基本として尊重し、原子力の開発・推進を行っている。[H23-09-27](#) より約一年かけて「[原子力政策大綱](#)」の見直しを行う。委員会での議論の推移をウォッチする必要がある。

<http://www.aec.go.jp/>

内閣府原子力委員会。[新大綱策定会議](#)。[12-10-02 廃止](#)。日本の原子力政策の方向付けを行う重要な役割を担う。

http://www.aec.go.jp/jicst/NC/tyoki/tyoki_sakutei.htm

[総合資源エネルギー調査会 基本政策分科会](#)。

<http://www.enecho.meti.go.jp/info/committee/index.htm>

ATOMICA は原子力に関連する幅広い情報を提供する[インターネット上の百科事典](#)。

原子力の基礎データを含め、豊富な情報量を誇るもの。

<http://www.rist.or.jp/atomica/>

原子力とエネルギーについて考える動画集（NHK）：貴重な動画が用意されているサイト。

<http://www.nhk.or.jp/eeco-channel/jp/energy/index.html>

東電サイト：東日本大震災後の福島第一・第二原子力発電所の状況 マスコミ向け発信情報など

<http://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/index-j.html>

軍縮・不拡散拡散センター 軍縮・不拡散に関する知識を深めるため、軍縮・不拡散を巡る今日の問題および根源的問題について、国内の有識者を集めて幅広い調査・研究を行い、問題の解決策について提言しています。

<http://www.cpdnp.jp/index.html>

公益財団法人放射線影響研究所（放影研）平和的目的の下に、放射線の人に及ぼす医学的影響およびこれによる疾病を調査研究し、原子爆弾の被爆者の健康保持および福祉に貢献するとともに、人類の保健の向上に寄与することです。前身は1947年に米国学士院（NAS）が設立した原爆傷害調査委員会（ABCC）。

http://www.rerf.jp/index_j.html

NPO法人「[原子力資料情報室](#)」のサイト。設立趣旨は下記の通りとしている。

原子力資料情報室は、原子力に依存しない社会の実現を目指してつくられた非営利の調査研究機関。産業界とは独立した立場から、原子力に関する各種資料の収集や調査研究などを行ない、それらを市民活動に役立つように提供している。

<http://www.cnrc.jp/>

高速増殖炉もんじゅ 「原子力資料情報室」による解説。

<http://www.ustream.tv/recorded/15965525>

《② 放射能全般》

放射能分野では一日一度はチェックが欠かせない[厚生労働省のサイト](#)。特に東日本大震災関連情報には目を配りたい。

<http://www.mhlw.go.jp/>

[環境省のサイト](#)。「東日本大震災への対応」で「放射能汚染のごみ焼却灰の処理」など具体的な施策が述べられている。経産省の保安院が閉鎖され、原子力規制委員会が環境省に設けられ、その中に所属することになった。

<http://www.env.go.jp/>

[文部科学省のサイト](#)。「東日本大震災関連情報」には目を通すようにしておきたい。そのほか航空機による都道府県別のモニタリング結果は⑤参照。

<http://www.mext.go.jp/>

環境防災Nネット（文部科学省）でSPEEDIの案内。これは「**緊急時迅速放射能影響予測ネットワークシステム**」と呼ばれるもので、原子力発電所などから大量の放射性物質が放出されたような緊急事態に、周辺環境における放射性物質の大気中濃度および被ばく線量など環境への影響を、放出源情報、気象条件および地形データを基に迅速に予測するシステム。

<http://www.bousai.ne.jp/vis/torikumi/index0301.html>

WSPEEDI（第二世代のSPEEDI）。日本原子力研究所では、1987年から2000年にかけて第2世代SPEEDIの開発を行い、海外で発生した原子力事故に対応するための世界版SPEEDI（WSPEEDI）の整備を行ったもの。

<http://www.bousai.ne.jp/vis/torikumi/030108.html>

（独）日本原子力研究開発機構が**WSPEEDI**を使い福島第一原子力発電所事故に伴うCs137の大気降下状況の試算を発表した（2011年9月6日）。主要な大気放出のあった3月に、日々どのようなプロセスで、関東及び東北地方にCs137が降下したかを計算シミュレーションにより解析して示したもので貴重なデータ。

<http://www.aec.go.jp/jicst/NC/iinkai/teirei/siryo2011/siryo34/siryo2.pdf>

今日からの**放射性物質拡散予測**（スイスからの動画）：

深夜0時から翌日の午前9時まで（33時間）の放射性物質の拡散を計算し、地上からの高度10m、500m、1500m、夫々においての物質の流れを、色で示した動画を公開している。

これにより外出時の対応など検討できる！ 日本の時刻表示は左側のJSTが相当する！

<http://savechild.net/sample-page/yosoku>

放射線に関する包括的な情報サイト。原発・放射能関連情報、土壌汚染、内部被ばくなど盛り沢山に用意されている。スイスの**放射能拡散予測シミュレーション**もみられる。また、東大・児玉龍彦教授の動画特集もある！

<http://bww.jp/r/>

自然放射線と人工放射線のちがい（動画） / 市川定夫氏

講師の市川定夫氏は埼玉大学名誉教授（遺伝学）・1958年京都大学卒、1963年京都大学大学院修了、農学博士。以下、市川定夫氏の講演動画で4部作。放射能はいらない。

<http://www.youtube.com/watch?v=-CeLnWq8rjs&feature=related>

<http://www.youtube.com/watch?v=iBc0fDgScnI&feature=related>

<http://www.youtube.com/watch?v=FSQMLt-E6T4&feature=related>

<http://www.youtube.com/watch?v=KxeS4i02sv4&feature=related>

《③ 外部被ばく・内部被ばく》

内部被ばく量や体内にある放射性物質の量を知るためには、今のところ、尿検査とWBCが主に使われています。

尿検査などから預託実効線量などを評価する計算モデル（体内残留量・排泄率のモデル予想値）

<http://www.nirs.go.jp/db/anzendb/RPD/gpmdj.php>

《④ 放射能と食品》

食品分野には見逃せない**農水省のサイト**。福島第一原発に関わる農畜水産物等への影響など数多くの情報を発信している。一日一度はチェックが欠かせない！

<http://www.maff.go.jp/>

放射能分野では一日一度はチェックが欠かせない**厚生労働省**のサイト。特に東日本大震災関連情報。

<http://www.mhlw.go.jp/>

内閣府内部に設置された**食品安全委員会のサイト**。「放射性物質と食品に関するQ & A」など情報量が豊富。放射性物質の食品健康影響評価に関するワーキンググループの検討結果の報告ということで、評価案が掲載されている。この評価案は232ページにも及ぶ膨大な資料にもなるが、ウランを始め主要核種の疫学資料が盛り込まれた貴重なデータにもなる。

<http://www.fsc.go.jp/>

食品安全委員会。**食品健康影響評価に関するワーキンググループ会議議事内容**。食品の新基準値検討

<http://www.fsc.go.jp/senmon/sonota/index.html>

厚労省作成（12-02-24）：食品中の放射性物質の新たな規制値の設定

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000023nbs.html>

厚労省の水道関連検討会。特に、**水道水における放射性物質対策検討会**に注目。検査マニュアル有。ここで全国レベルでの水道水の汚染状況が把握できる。

<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/kenkou/suido/kentoukai/houshasei.html>

埼玉県営水道における放射性物質検出結果

<http://www.pref.saitama.lg.jp/page/housyasei-sokuteikekka.html>

東京都の水道水

<http://www.waterworks.metro.tokyo.jp/press/shinsai22/index.html>

尿検査などから預託実効線量などを評価する計算モデル（体内残留量・排泄率のモデル予想値）

<http://www.nirs.go.jp/db/anzendb/RPD/gpmdj.php>

林野庁。きのこ原木及び菌床用培地の当面の指標値設定に関する Q&A

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/tokuyou/shiitake/sihyouti2.html>

食品に関するリスクコミュニケーションー**放射性物質に係る食品健康影響評価**についてー

食品安全委員会：放射性物質の食品健康影響評価に関するワーキンググループ

2011-04-21~07-26 の 9 回実施

<http://www.fsc.go.jp/senmon/sonota/index.html>

緊急時における食品の放射能検査マニュアル 厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課の作成 (H14年3月)。

<http://ow.ly/6raY7>

日本乳業協会。牛乳製造メーカーが設立した業界団体。牛乳に含まれる放射能の検査結果をHPに掲載。

<http://www.nyukyou.jp/>

J-ミルク（日本酪農乳業協会）のサイト。牛乳に関する放射能のQ&A。放射能問題などあり。

<http://j-milk.jp/>

いろいろな食品に含まれる放射能のレベルをカテゴリーなどから見るができる。食品と放射能についてもわかりやすく説明をしている。財団法人日本食品分析センターが運営している（文科省委託）

http://search.kankyo-hoshano.go.jp/food/servlet/food_in?pageSID=193722824

食品の放射性物質の暫定基準値はどうやって決まったか（専門が水産資源学の学者が作成）

<http://katukawa.com/?p=4467>

放射能の安全性を検証する。預託実効線量など内部被ばく線量を推定。

<http://www.kamonavi.jp/ja/hope/ray/ray.cgi/ray.html>

ベクレルセンター。食品の放射能測定を行う日本初の「放射能機器レンタルスペース事業」。

http://bq-center.com/about_us.html

食の研究所。日本、世界の食や、食の安全性に関わる問題を取り上げる。

<http://food.ismedia.jp/>

財団法人原子力環境整備促進・資金管理センターのサイト。ここで、

HOME > 原環センターライブラリ > その他の技術刊行物 > 環境パラメータシリーズ

の中に、「土壌から農作物への放射線核種の移行係数」、「食品の調理・加工による放射線核種の除去率」などの資料を用意。また、高レベル放射性廃棄物の処分、諸外国の事例などの記述がある。

<http://www.rwmc.or.jp/>

勝川 俊雄氏（三重大学 生物資源学部 准教授）の公式サイトです。水産学（資源管理・資源解析）からの視点で放射能問題に取り組まれている。食品の暫定規制値にも取り組む。

<http://katukawa.com/>

《⑤ 放射能検査、線量換算計算、モニタリング・データなど》

文部科学省のサイト。航空機による都道府県別のモニタリング結果、放射線量等分布マップ等など

の情報が紹介されている。

<http://ramap.jaea.go.jp/map/> ← 放射線量等分布マップ拡大サイト（空間線量率、セシウムなど）

文部科学省による、①ガンマ線放出核種の分析結果、及び②ストロンチウム 89、90 の分析結果（第 2 次分布状況調査）について 2012-09-12

<http://radioactivity.nsr.go.jp/ja/>

放射線量モニタリング・データをまとめたもの。そのほか、東大などの研究機関から放射線に関する教材などが豊富に紹介されている。

<https://sites.google.com/site/radmonitor311/home>

環境放射能調査研究成果発表会。昭和 34 年以來の環境放射能の測定結果が公表されている。

http://www.kankyo-hoshano.go.jp/08/08_0.html

「生活空間の放射線測定 基礎知識」の作成について（お知らせ）環境省の報道発表資料
放射線の測定に関する基礎知識についての資料（ハンドブック及びチラシ）を作成。ハンドブックには、測定器の種類と選び方、測る前の準備、空間線量率の測り方などを分かりやすく紹介しています。空間線量率の測定の際に利用して欲しい。

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=15557>

全国のリアルタイム放射線量マップ（速報版）について。雨・風の強いなどに確認。

<http://atmc.jp/realtime/>

ガイガーカウンター リアルタイム 観測網。地図上に主な観測ポイント別に $\mu\text{Sv/hr}$ 、或いは CPM 表示している。リアルタイムなので、今の現状が分かるというのはとても便利。

<http://bousai.maechan.net/nuclear/>

定時降下物（セシウムがそらから降ってくる量）のモニタリング。特に福島の数値が減るところか増えてきている。動きをフォローする必要がある。これでは除染してもその効果が疑われる。

<http://radioactivity.nsr.go.jp/ja/>

気象研究所。東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う放射性物質の移流拡散（動画で事故勃発～3月25日までを表現）。ホットスポットの要因と言われる3月15日、21日の動きが鮮明に。

<http://goo.gl/GbZct>

東京都健康安全研究センター。環境放射能その他測定結果のまとめ。

大気中の放射能、水道水の放射線量、空間放射線量、土壌中の放射線量、都内流通食品の放射性物質、林産物・海産物の放射線量、海水の放射線量、落葉・剪定枝堆肥の放射線量など。

<http://monitoring.tokyo-eiken.go.jp/>

みんなでつくる放射線量マップ。放射線測定機を保有する人は自由に線量を登録が可能。

<http://minnade-map.net/>

・
測ってガイガー。ガイガーカウンターを持っていない人が、持っている人に測定をリクエストしたり、自主的に測定値を投稿して、みんなに知らせることもできるサイト。

<http://hakatte.jp/map/>

・
東京都の空間放射線量率モニター。少数サンプルながら牛乳等の線量の発表。

<http://securitytokyo.com/index.html>

・
「放射能測定法シリーズ」が国（文部科学省）により制定されている。夫々の書籍の案内箇所では書籍内容で作成した PDF ファイルを表示、購入しなくてもダウンロードして利用可能。

<http://www.jcac.or.jp/site/library/series.html>

・
緊急被ばく医療ポケットブック。この第4章に「内部被ばくに関する線量換算係数」データが掲載。

http://www.remnet.jp/lecture/b05_01/index.html

・
カシオのサイト。表示されたページで「放射能」をクリック。内部被ばく等の計算などが利用可能。

<http://keisan.casio.jp/>

・
このページはベクレル (Bq) をシーベルト (Sv) に換算するためのツール。下段の URL が詳しい。

http://testpage.jp/m/tool/bq_sv.php

http://www.mikage.to/radiation/internal_exposure.html

・
放射線防護で用いられる線量について（独立行政法人日本原子力研究開発機構） 線量の測定・評価の体系、実効線量の概念など解説

<http://www.aec.go.jp/jicst/NC/iinkai/teirei/siryo2012/siryo09/siryo1.pdf>

・
高校物理。「放射能と吸収線量の測定単位」を参照。込み入った内容を丁寧に解説している。

<http://fnorio.com/index.htm>

・
比較的安価な放射線測定器の性能。 独立行政法人・国民生活センターからの提供。

http://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20110908_1.html

・
放射能測定機器に関するメモ。測定機器の種類と価格、感度などについて紹介している。

<http://www.mikage.to/radiation/>

・
放射線測定器の種類と一覧

<http://www.mikage.to/radiation/detector.html>

・
同位体研究所。セシウム、ストロンチウムなどの検査も受託している。

<http://www.radio-isotope.jp/>

・
《⑥ 放射能と行政、エネルギー政策、放射能教育等》

政府における東日本大震災関係の対策本部等の概略図（原子力災害対策本部含む） 11-05-09 現在
<http://www.cao.go.jp/shien/3-info/2-taisei/1-taisei.pdf>

環境省のサイト。「東日本大震災への対応」で放射能汚染のごみ焼却灰の処理など具体的な施策が述べられている。

<http://www.env.go.jp/>

厚生労働省。食品衛生分科会放射性物質対策部会。ここで注目の食品暫定規制値が論議されてきた。
<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r98520000008fcs.html#shingi54>

低線量被ばくのリスク管理に関するワーキンググループ（内閣官房）。東大の児玉教授が5つの提案をされている。

http://www.cas.go.jp/jp/genpatsujiko/info/news_111110.html

「放射性物質汚染対処特措法」（2011年8月26日成立：環境省所管）
 ……汚染処理に関する初めての法案が出来た……放射性廃棄物などの処理など

<http://www.env.go.jp/jishin/rmp.html>

除染情報プラザ。福島県と環境省が共同で、市町村等のコミュニティ向けに、除染の専門家やボランティアの方の紹介窓口となる「除染情報プラザ」を立ち上げたもの。

<http://www.env.go.jp/jishin/josen-plaza.html>

文部科学省。教育現場の皆様へ（放射能を正しく理解するために）。57頁のガイドラインを提示。
<http://goo.gl/Oziif>

文部科学省、放射線等に関する副読本の作成。小学校、中学校、高校生の生徒及び教師用。
http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/23/10/1309089.htm

経済産業省。エネルギー政策について（エネルギー白書）
<http://www.enecho.meti.go.jp/topics/hakusho/index.htm>

経済産業省。総合資源エネルギー調査会。今後、新しくエネルギー政策が議論される。H23-10-03より約一年かけて「エネルギー基本計画」の見直しを行う。基本問題委員会の議論の推移をウォッチする必要がある。

http://www.meti.go.jp/committee/gizi_8/1.html

放射性医学総合研究所。放射線の性質と防護、サーベイメータの取扱いに関する動画を公開。
http://www.nirs.go.jp/information/movie/education-dvd_defense/index.php 放射線

http://www.nirs.go.jp/information/movie/education-dvd_survey/index.php サーベイメータ

放射線学入門。産業医科大学医学部放射線衛生学講座。分かり易く一般向けに編集されたスライド。

<http://www.uoeh-u.ac.jp/kouza/hosyaeis/hibakuguide.pdf>

暮らしの中の放射線。基礎的な分かり易い解説をしているサイト。放射線科学センターの作成。

<http://rcwww.kek.jp/kurasi/>

理論化学（個人のサイト）← これに代わるサイトが見つかるまでの臨時的なもの

http://www.geocities.jp/amy_chemistry/rironkagaku.html

学校において受ける線量の計算方法について（文部科学省：平成 23 年 8 月 26 日）

http://www.mext.go.jp/a_menu/saigaijohou/syousai/1310974.htm

除染に関する緊急実施基本方針について（※経済産業省ウェブサイトへのリンク）

<http://goo.gl/eYs0V>

除染技術カタログ。 内閣府原子力被災者生活支援チーム作成

<http://www.cas.go.jp/jp/genpatsujiko/pdf/20111122nisa.pdf>

福島県、及びいわき市の除染実践マニュアルなど

◇福島県：

<http://goo.gl/VZ2UQ>

◇いわき市：

<http://www.city.iwaki.fukushima.jp/topics/012508.html>

埼玉県の放射線関連情報。放射能に関する Q & A、食品の放射能検査結果公表等々。

<http://www.pref.saitama.lg.jp/page/tohokukanto.html#genpatsu>

《⑦ 放射能と医療、研修など》

（財）原子力安全研究協会の作成によるもので、夫々 20~50 分構成のビデオ。画面の左側に画像、右側に文章による説明と分かり易く構成されている。

この内容は次の通り。

①放射線事故の歴史 ②放射線の性質と単位 ③放射線の人体への影響 ④放射線測定 ⑤緊急被ばく医療の基礎知識 ⑥我が国の緊急被ばく医療体制

これらの他に、実践的被ばく医療・基本編がある。

<http://www2.remnet.jp/remvideo2004/contents.php>

放射線影響協会 設立当初からの事業である、原子力・放射線の利用に不可欠な放射線影響等に関する知識の普及、調査研究、調査研究に対する助成等を実施しています。

<http://www.rea.or.jp/>

日本学術会議一般公開イベント。公開講演会・シンポジウム（社会との対話）が開催されている。

<http://www.scj.go.jp/>

長崎大学先導生命科学研究支援センターによる放射能医療科学 e ラーニング。基礎的な学習コース
<http://www.med.nagasaki-u.ac.jp/nuric/>

（財）原子力安全技術センターの作成による研修講座。

http://www.bousai.ne.jp/vis/bousai_kensyu/index.html

生体機能研究会。このサイトの中に「低線量被ばくのサイエンス」という論文集が掲載されている
<http://www.bio-function.co.jp/index.html>

《⑧ 他国の事例》

（当初あったが発信元で削除された）

《⑨ 放射性廃棄物》

「放射性物質汚染対処特措法施行規則の一部を改正する省令」の公布について（お知らせ）
 「平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法施行規則の一部を改正する省令」が本日公布・施行されることとなりましたので、お知らせいたします。

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=15114>

資源循環・廃棄物研究センター。廃棄物処理についての基礎的な理解をする上で貴重なサイト。

<http://www-cycle.nies.go.jp/index.html>

環境総合研究所。環境総合研究所のミッション 理念、目的、社会的使命
 研究所、研究員が行うことは、単なる研究のための研究、単なる基礎研究であってはならないこと、その社会的有用性を常に意識すること

<http://eritokyo.jp/index.htm>

フィンランドのオンカロ（隠された場所）。人類が処理しきれないエネルギーを手にしたことから悲劇が始まった！ さて、日本はどうするのだろうか？

高レベル放射性廃棄物の 10 万年後 NHK120324

<http://www.nhk.or.jp/eco-channel/jp/energy/policy.html>

一般廃棄物焼却施設における焼却灰の放射性セシウム濃度測定結果一覧（原子力委員会資料）

<http://www.aec.go.jp/jicst/NC/iinkai/teirei/siryu2011/siryu33/siryu2-5.pdf>

瓦礫の広域処理に関する問題点（動画）

<http://www.youtube.com/watch?v=08SYhu7r9Nw>

《⑩ その他》

◆**重要なサイト**：放射線と原子力発電所事故についてのできるだけ短くてわかりやすく正確な解説（学習院大学：田崎氏）。食品と放射能などの関係について、数式を使い理論的に説明。

<http://www.gakushuin.ac.jp/~881791/housha/index.html>

日本及び近隣諸国の原発立地と、距離関係を地図上に表示する

<http://www.nanchatte.com/map/NuclearPowerPlant.html>

これは、休止・稼働の如何を問わず、日本及び近隣諸国原発の所在地からの及ぼす範囲を同心円的に表現するものです。

日本の原子力発電所からの距離 その他原発、活断層、ごみ処理施設など豊富な地図情報など満載

http://arch.inc-pc.jp/004/index_11.html

地震速報レポート タイムリーに発生場所（地図上に表示）、時刻を案内してくれる。

<http://quake.twiple.jp/>

原発建設に際し、過去の警告を無視していたこと。今回の津波では神社、奥州街道の宿場などで難を免れたという事実が歴史に学ぶことの大事さを訴えている。動画

<http://goo.gl/iOKDh>

プルサーマル計画 英 MOX 燃料工場閉鎖へ（動画）

http://www.youtube.com/watch?v=h-z7tYpO8Wg&feature=digest_fri

日本の放射性廃棄物の処理を請け負い、MOX 燃料を作っていたイギリスの工場が日本の政治情勢をにらみ、今後、仕事が途絶えると考え、早々と閉鎖したというニュース！日本が六ヶ所村再処理工場を継続しない限り MOX 燃料を入手することは難しくなってしまった。

福島での汚染状態を map でまとめた海外からの資料：

<http://www.scoop.it/t/mapping-participating-fukushima-radiation-maps>

冷温停止とは？ また、その問題点とは？ （動画）2011-09-20 アップ

http://www.youtube.com/watch?v=Cw_hy7p8rrY&feature=youtu.be

小出裕章（京大助教）非公式まとめ 同氏に関する発信された情報を整理しまとめたもの。

<http://hiroakikoide.wordpress.com/>

カレイドスコープ（信じたくないが現実には起こっている世界）。放射能に関する諸々のレポートを発信している。例えば「今後は放射性核種と生物学的半減期が重要」など。

<http://kaleido11.blog111.fc2.com/>

子どもたちを放射能から守る全国ネットワーク。このほかにブログもある。

<http://kodomozenkoku.com/>

Save Child (子供を守ろう)。子供と放射能に関する情報が豊富に掲載されているサイト。日本の(食品の)暫定基準値が諸外国に比べ如何に高いか紹介されている。

<http://savechild.net/>

独立行政法人・原子力安全基盤機構が事故前に、原子力防災専門官向け資料として作成していた、「炉心熔融のシミュレーション画像」(動画)

http://www.youtube.com/watch?v=wwYk62WpV_s&feature=player_embedded

日本原燃(株)の事業。六ヶ所再処理工場でウランの再処理、低レベル放射性廃棄物の処理など行っている。放射線に関する用語解説もある。

<http://www.jnfl.co.jp/index.html>

私設原子力情報室(全体)。

原発一覧、私設一覧、セシウム137体内残留計算、外部被ばく計算など紹介している。ブログも。

<http://www.ne.jp/asahi/nonukes/home/index.html>

私設原子力情報室(ブログ)。放射能について絵図など使い詳しく解説している。

<http://nucleus.asablo.jp/blog/>

CNN解説+福島原発プルトニウム粒子等北米にも飛散! ガイガーでは計測不能。動画。

http://www.youtube.com/watch?NR=1&v=7y-t5_jW7ag

プルトニウムという放射能とその被曝の特徴(京都大学 原子炉実験所 小出 裕章)

<http://www.rri.kyoto-u.ac.jp/NSRG/kouen/Pu-risk.pdf>

放射性ストロンチウムについてのリンク集

<http://konstantin.cocolog-nifty.com/blog/2011/05/post-c340.html>

原子力安全研究グループの論文集(京都大学原子炉実験所:今中、小出氏など)

チェルノブイリ、スリーマイル、福島第一原発など

<http://www.rri.kyoto-u.ac.jp/NSRG/>

東京で高放射性粒子計測報告:米科学者。発癌率上昇! ガンダーセン

<http://www.youtube.com/watch?v=-T2foWQ6xoo>

環境科学技術研究所。分かり易い動画(ホールボディ・カウンターなど)を紹介している。

<http://www.ies.or.jp/index.html>

海洋速報&海流推測図。ここで「海流」をクリックすると黒潮の流れが表示される。

<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KANKYO/KAIYO/qboc/index.html>

早川教授作成：福島原発からの汚染を地図上に時系列表示

2011年3月11日から21日にかけて福島原発からどのように汚染されたか時系列で地図上に表示している。

<http://kipuka.blog70.fc2.com/blog-entry-441.html>

(全体イメージ)

<http://kipuka.blog70.fc2.com/blog-entry-453.html>

(汚染ルート別に地図を別表示したもの ⇒ 夫々クリックで拡大します)

三郷の場合、3月21日に注目

・

東京大学原発支援フォーラム TGF。一般市民に適切な情報を提示し、市民の問いかけと情報交換のお手伝いをしたい。

<http://311tgf.org/>

・

気象庁の地震・津波に関するサイト。日々の地震情報をアップしている。図解分析資料も豊富。

<http://www.seisvol.kishou.go.jp/eq/index.html>

・

【図解・社会】福島原発・ビジュアル解説 時事ドットコム提供の画像と解説 (時系列表示)

http://www.jiji.com/jc/v?p=ve_soc_genpatu-fukushima-top

・

原発のストレステスト評価 Q & A (プラント技術者の会 編)

<http://park1.aeonnet.ne.jp/~foisj/stpamph.pdf>

・

島藺進・宗教学とその周辺。日本の放射線影響・防護専門家が ICRP 以上の安全論に傾いてきた経緯 (1) —— ICRP の低線量被ばく基準を緩和しようという動きの担い手は誰か? —— など。

<http://shimazono.spinavi.net/?p=267>

・

安全安心科学アカデミー。原発推進派の拠点?

<http://homepage3.nifty.com/anshin-kagaku/index.htm>

・

電源立地制度の概要。電源地域振興センターが設けた制度で、電源三法の仕組み及びそれに基づく補助金や交付金制度等について紹介しています。(平成22年3月発行)。

<http://www2.dengen.or.jp/html/leaf/seido/seido.html>

・

東京被曝対策情報。被曝時代に如何に生活するかのノウハウを整理したもの。食物・マスク選びも。

<http://hibakutokyo.com/introduction/>

・

NPO 市民科学研究室 素人の知恵と力を結集して「市民にとってよりよい科学技術とは」を考え、提言する NPO です。

<http://www.csij.org/> トップページ

<http://archives.shiminkagaku.org/archives/> アーカイブス

・

原発関連動画集 NHK をはじめ多くの動画を取り込んだ貴重な情報集。

<http://www.at-douga.com/?cat=8>

•

国会事故調報告書のURLは下記です。

国会事故調報告書

<http://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/3856371/naic.go.jp/index.html>

関連：国会 東京電力福島原子力発電所事故調査委員会HP

<http://www.naic.jp/>

•

NHK アーカイブ。NHK が過去に放映した貴重な動画集（一部）。最新情報も！

<http://cgi4.nhk.or.jp/eco-channel/jp/movie/index.cgi>

•

チェルノブイリ原発事故によるその後の事故影響技術と人間（一九九七年五月号）

京都大学助教今中哲二氏

<http://www.rri.kyoto-u.ac.jp/NSRG/Chernoby1/GN/GN9705.html>

フランスの物理学者ベラ・ベルベオークが事故後、1 週間にも経たない中で、衝撃的な発表をしているが、正にその通りに進行してきたのは驚くばかり！そしてフクシマも同じか？

•

原発の配置に潜む諸問題 TV 朝日モーニングバード（動画）120913

http://www.youtube.com/watch?feature=player_embedded&v=9PudgErcZBY#!

この動画では、日本の各原発における立地上の課題を解説している。

•

原水爆禁止世界大会・科学者集会（滋賀）。この会議で広島平和研究所の（アメリカ史専門）高橋博子氏が「公文書で判明した米核戦略の深層」と注目すべき発表をしている。この内容は下記の通り 2011-09-02 週刊朝日にも掲載されている。

詳しくは著書「封印されたヒロシマ・ナガサキ：米核実験と民間防衛計画」凱風社。新本在庫なし。

<http://goo.gl/zeAj1>

週刊朝日記事（2011-09-02）

<http://goo.gl/0JIRy>

核マフィアが放射線「安全」基準を作った。徳岡宏一朗氏。弁護士、龍谷大学客員教授。

<http://goo.gl/CFU0e>

•